

ファンドスミス・ グローバル・エクイティ・ファンド

追加型投信／内外／株式

お申込みにあたっては、必ず投資信託説明書(交付目論見書)および目論見書補完書面等をご覧ください。

当ファンドは、投資信託証券への投資を通じて値動きのある有価証券等(外貨建資産には為替変動リスクもあります。)に投資しますので、ファンドの基準価額は変動します。これらの運用による損益はすべて投資者のみなさまに帰属します。したがって、投資者のみなさまの投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。また、投資信託は預貯金と異なります。

Fundsmith Equity Fund

ファンドスミス・エクイティ・ファンド（英国籍）*1

英国の投資家から信頼されている

ファンドスミス社*2の旗艦ファンド



ファンドスミス・エクイティ・ファンド(英国籍)^{*1}

(以下、旗艦ファンド)と

同一の運用戦略の公募ファンドが

日本初上陸^{*3}

ファンドスミス社^{*2}

最高経営責任者(CEO) 兼 最高投資責任者(CIO)

テリー・スミス



Fundsmith

^{*1} 英国籍外国投資法人「ファンドスミス・エクイティ・ファンド」英ポンド建投資証券を指します。当ファンドの主要投資対象である、ルクセンブルク籍外国投資法人「ファンドスミスSICAV-ファンドスミス・エクイティ・ファンド |クラス」米ドル建投資証券とは異なります。

^{*2} ファンドスミス・インベストメント・サービシーズ・リミテッド、およびその関係会社を総称して「ファンドスミス社」といいます(以下同じ)。ファンドスミス・インベストメント・サービシーズ・リミテッドはファンドスミス社の海外運用拠点の一つです。

^{*3} 当ファンドは、2021年12月22日に日本初の「ファンドスミス・エクイティ・ファンド(英国籍)」と同一の運用戦略の公募ファンドとして設定されました。



テリー・スミスの信念

“今も、そしてこれからも”

安定した成長が見込まれる優良企業に投資を行い、
保有し続けることで投資家に安定的なリターンを提供したい。



この信念に基づき2010年にファンドスミス社を設立。

設立から10年余り、

運用資産総額は約6.8兆円*となりました。(2024年12月末時点)

*2024年12月末時点の為替(1英ポンド=199.02円)を使用。
出所:ブルームバーグ、ファンドスミス社のデータをもとにアセットマネジメントOne作成

(ご参考) ファンドスミス社の旗艦ファンド*のパフォーマンス (英国籍、英ポンドベース)

下記は、当ファンドの主要投資対象である、ルクセンブルク籍外国投資法人「ファンドスミス SICAV - ファンドスミス・エクイティ・ファンド Iクラス」米ドル建投資証券と同一の運用戦略で運用されている、英国籍外国投資法人「ファンドスミス・エクイティ・ファンド Iクラス」英ポンド建投資証券のパフォーマンスを表しています。当ファンドまたは主要投資対象ファンドの運用実績ではありません。また、将来の運用成果を示唆・保証するものではありません。



* 英国籍外国投資法人「ファンドスミス・エクイティ・ファンド Iクラス」英ポンド建投資証券を使用しています。

※期間：2010年11月1日(旗艦ファンド設定日)～2025年1月31日(日次)

※2010年11月1日を100として指数化

※旗艦ファンドの運用実績は、運用費用控除後、分配金再投資、英ポンドベースのパフォーマンスです。

※世界株式はMSCIワールド・インデックス(配当込み、英ポンドベース)を使用していますが、旗艦ファンドのベンチマークではありません。

出所：ブルームバーグのデータをもとにアセットマネジメントOne作成

※上記は過去の情報であり、将来の運用成果等を示唆・保証するものではありません。

ファンドスミス社について

ファンドスミス社は、2010年にロンドンで設立された独立系運用会社。

英国の投資家から信頼を集め、同社の運用資産総額は約6.8兆円*となりました。(2024年12月末時点)

同社の旗艦ファンドである、英国籍外国投資法人「ファンドスミス・エクイティ・ファンド」英ポンド建投資証券は、2010年に運用を開始。現在、株式のアクティブ運用においては英国最大級のファンド(約4.5兆円*)に成長。

(2024年12月末時点)

*1英ポンド=199.02円(2024年12月末時点)。

出所:ブルームバーグ、ファンドスミス社のデータをもとにアセットマネジメントOne作成



※期間:2010年~2024年(年次)

※為替は各年末の値を使用。



ファンドスミス社

最高経営責任者(CEO) 兼 最高投資責任者(CIO)

テリー・スミス

- ・1974年にパークレイズ銀行でキャリアをスタート
- ・1992年、自身の財務分析の手法をまとめた著書『Accounting for Growth』を出版、ベストセラーに
- ・2010年にファンドスミス社を設立
- ・英『Financial Times』紙に寄稿するなどメディアでも活躍し、英国のウォーレン・バフェット*とも言われている
- *「投資の神様」とも呼ばれる米国の著名投資家



著書『Accounting for Growth』

※上記は過去の情報であり、将来の運用成果等を示唆・保証するものではありません。

“10 Golden Rules” テリー・スミスの「投資の10の黄金ルール」

1. 理解できないものには投資しない
2. マーケットタイミングを計らない
3. 運用コストを最小限に
4. 売買頻度を最小限に
5. 過度な分散投資を避ける
6. 税制上のメリットだけを重視して投資しない
7. 投下資本に対して十分な見返りを得られない企業に投資しない
8. 天才やカリスマ経営者に依存した企業に投資しない
9. 投資したいと思えるビジネスに、適切な価格で投資する
10. 優良企業に投資後は、株価の動きに一喜一憂しない

※上記はテリー・スミスが2010年から2020年に執筆したコラム等をまとめた『Investing for Growth』（2020年出版）
において説明している、個人投資家が陥りやすい基本的なミスを回避するためのテリー・スミスの「投資の10の黄金ルール」です。
※上記は常に守られるものではなく、各ルールで運用ができない場合があります。

出所：ファンドスミス社からの情報をもとにアセットマネジメントOne作成

ファンドスミス社の投資哲学

「優良企業を安く買って、長期保有する」という運用スタンスを掲げて、市場の短期的な動きに惑わされず、実際にそれを実践するのは容易ではありません。しかし、当戦略では、市場の短期的な動きに惑わされることなく、シンプルな3つの投資哲学を実践し、良好なパフォーマンスを残してきました。

“Buy good companies” 1. 優良企業に投資する

現在成長していて、今後も成長し続けると判断した優良企業を発掘し投資を行います。長期にわたって持ち続けることを前提として、長い時間をかけて優良企業かどうかを見極めます。

ファンドスミス社が**選好する企業**の特徴例



優良な無形資産（ブランド力等）を持つことにより高い競争力を有する企業



日常的に使用する製品等から、継続的に収益獲得ができる企業



収益性の高い事業に再投資することにより成長できる企業

など

ファンドスミス社が**選好しない企業***の特徴例



業界の変化が激しく、勝ち組であるかを見極めにくい企業



流行の移り変わりの影響を大きく受ける製品を取り扱う企業



景気循環に左右されやすい製品を取り扱う企業

など

*投資に際し、主として、銀行、保険、不動産、航空会社、公益事業等を除外します。

※上記は2025年1月末時点の情報に基づくものであり、予告なく変更される場合があります。

出所：ファンドスミス社からの情報をもとにアセットマネジメントOne作成

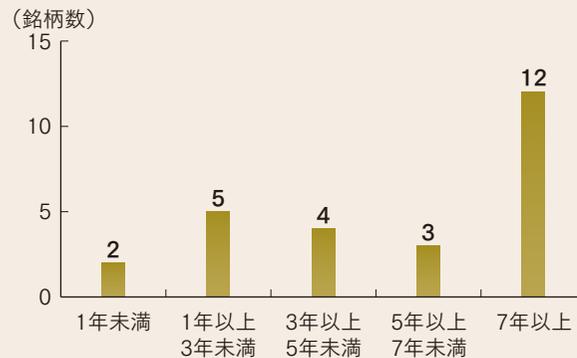
“Don't overpay” 2. 割高な水準は避ける

ファンドスミス社が合理的と判断した価格で、優良企業に投資を行います。
合理的と判断した価格であっても、優良企業ではないと判断した場合は投資を行いません。

“Do nothing” 3. 頻繁な売買を行わない

投資判断の前提が変化したり、より魅力的な投資機会が現れたりしない限り、
市場が大きく変動しても保有し続けます。

ファンドスミス社の旗艦ファンドにおける銘柄保有期間の分布



※2024年12月末時点

※英国籍外国投資法人「ファンドスミス・エクイティ・ファンド」英ポンド建投資証券のデータを使用

出所：ファンドスミス社のデータをもとにアセットマネジメントOne作成

※上記は2025年1月末時点の情報に基づくものであり、予告なく変更される場合があります。
出所：ファンドスミス社からの情報をもとにアセットマネジメントOne作成

ファンドの特色

1 主として世界の株式*に実質的に投資を行い、
長期的な値上がり益の獲得をめざして運用を行います。

*DR(預託証券)もしくは株式と同等の投資効果が得られる権利を表示する証券および証書等を含みます。

- ルクセンブルク籍外国投資法人「ファンドスミスSICAV－ファンドスミス・エクイティ・ファンド Iクラス」(以下、「ファンドスミス・エクイティ・ファンド」といいます。)米ドル建投資証券と国内投資信託「DIAMマネーマザーファンド」受益証券を投資対象とするファンド・オブ・ファンズの形式で運用を行います。
- ファンドスミス・エクイティ・ファンドの組入比率は、原則として高位を維持します。
- 実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジは行いません。このため、基準価額は為替変動の影響を受けます。

2 ファンドスミス・エクイティ・ファンドは、銘柄選定にあたり、
世界の株式から業種・流動性・財務指標の各基準を用いて投資対象銘柄を絞り込み、
その中から資本効率、ビジネスモデル、財務バランス、事業環境の変化への対応の観点などから
優れていると判断される企業を厳選して投資を行います。

3 ファンドスミス・エクイティ・ファンドの運用は、
ファンドスミス・インベストメント・サービシーズ・リミテッドが行います。

- ファンドスミス・インベストメント・サービシーズ・リミテッド、およびその関係会社を総称して「ファンドスミス社」といいます(以下同じ)。ファンドスミス・インベストメント・サービシーズ・リミテッドはファンドスミス社の海外運用拠点の一つです。

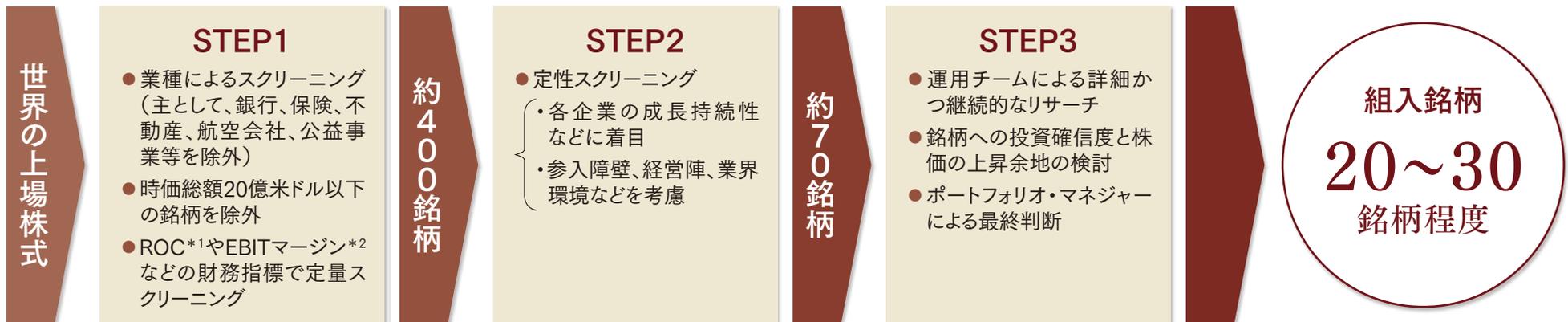
資金動向、市況動向等によっては、上記の運用ができない場合があります。

ファンドの運用プロセス

ファンドスミス社の 投資哲学

1. 優良企業に投資する “Buy good companies”
2. 割高*な水準は避ける “Don't overpay”
*ファンドスミス社が合理的ではないと判断した価格
3. 頻繁な売買を行わない “Do nothing”

ファンドの運用プロセス



*1 「ROC」とは、Return On Capitalの略称で、資本利益率を指します。企業が投下資本を効率よく利益に結びつけているかを測定するための指標です。

*2 「EBIT」とは、Earnings Before Interest and Taxesの略称であり、「EBITマージン」とは当期純利益から受取利息・支払利息と税金の影響を除いた事業活動からの収益力を測定する指標です。

右記のような 銘柄に投資

- 投下資本に対する高いリターンを維持できると考えられる優良企業
- 他社による模倣が困難な事業を展開していると考えられる企業
- 収益獲得のために大きな借入を必要としないと考えられる企業
- 収益性の高い事業への再投資により成長が期待できる企業
- 技術革新などの環境変化に耐性があると判断される企業

※運用プロセスは、作成時点のものであり、今後予告なく変更される場合があります。

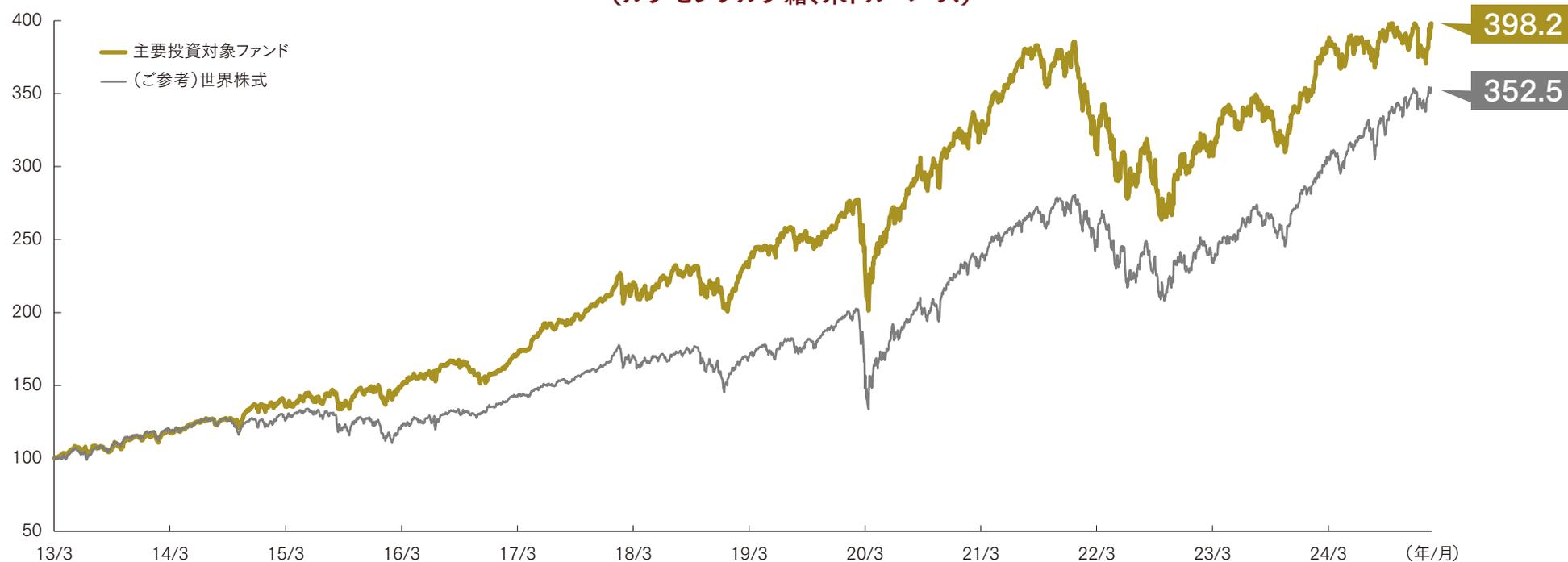
出所：ファンドスミス社の情報をもとにアセットマネジメントOne作成

資金動向、市況動向等によっては、上記の運用ができない場合があります。

主要投資対象ファンドの運用実績

下記は、当ファンドの主要投資対象である、ルクセンブルク籍外国投資法人「ファンドスミスSICAV－ファンドスミス・エクイティ・ファンド Iクラス」米ドル建投資証券のパフォーマンスを表しています。当ファンドの運用実績ではありません。また、将来の運用成果を示唆・保証するものではありません。

主要投資対象ファンドのパフォーマンス (ルクセンブルク籍、米ドルベース)



※期間:2013年3月13日(主要投資対象ファンド設定日)～2025年1月31日(日次)

※2013年3月13日を100として指数化

※主要投資対象ファンドの運用実績は、運用費用控除後、分配金再投資、米ドルベースのパフォーマンスです(以下同様)。

※世界株式はMSCIワールド・インデックス(配当込み、米ドルベース)を使用していますが、当ファンドまたは主要投資対象ファンドのベンチマークではありません(以下同様)。

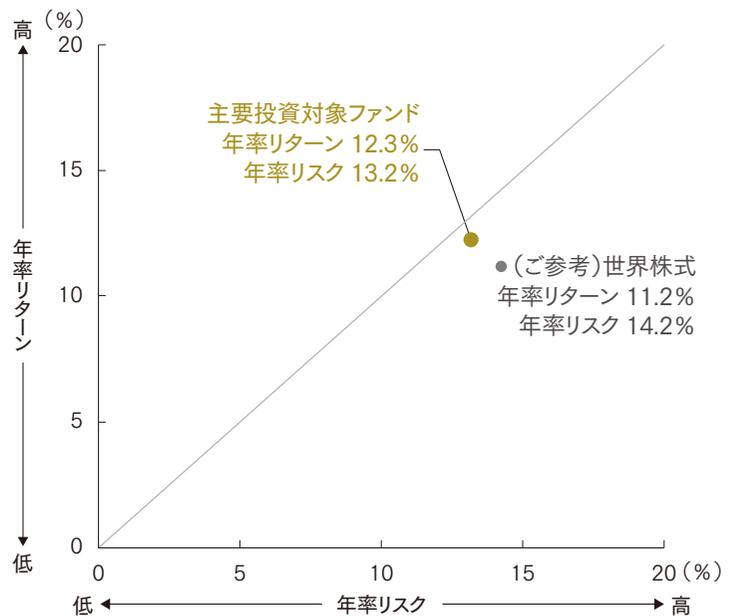
出所:ブルームバーグのデータをもとにアセットマネジメントOne作成

※上記は過去の情報であり、将来の運用成果等を示唆・保証するものではありません。

主要投資対象ファンドのパフォーマンスデータ①

下記は、当ファンドの主要投資対象である、ルクセンブルク籍外国投資法人「ファンドスミスSICAV－ファンドスミス・エクイティ・ファンド Iクラス」米ドル建投資証券のパフォーマンスを表しています。当ファンドの運用実績ではありません。また、将来の運用成果を示唆・保証するものではありません。

リスク・リターン (米ドルベース)



※グラフ内の斜めの線はリスク1単位当たりのリターン(リターン÷リスク)*が1となるラインを示しています。

*リスク1単位当たりのリターン(リターン÷リスク)は、一般的にこの値が高いほど、投資効率が優れているといえます。シャープレシオ(リスク1単位当たりの超過リターン)とは異なります。

※期間:2013年3月末(主要投資対象ファンド設定月末)~2025年1月末(月次)

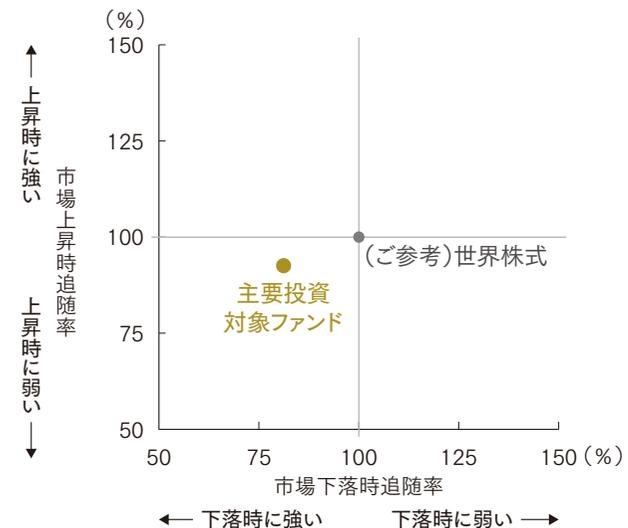
※年率リスクは、月次リターンの標準偏差を年率換算したものであり、平均的なリターンからどの程度かい離するか、値動きの振れ幅の度合いを示しています。

※追従率は、ひと月当たりの世界株式の動きに対する主要投資対象ファンドの動きの割合を示したものです。100%超は市場よりも大きく動いたことを、100%未満は市場よりも小さく動いたこと、あるいは逆方向に動いたことを表します。

※世界株式の月次騰落率がプラスであれば市場上昇時、マイナスであれば市場下落時としています。

出所:ブルームバーグのデータをもとにアセットマネジメントOne作成

市場上昇・下落時追従率(対世界株式) (米ドルベース)



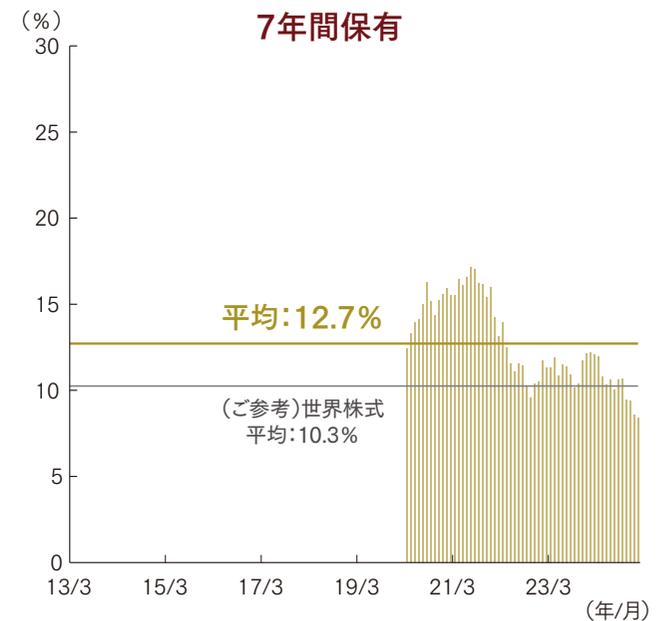
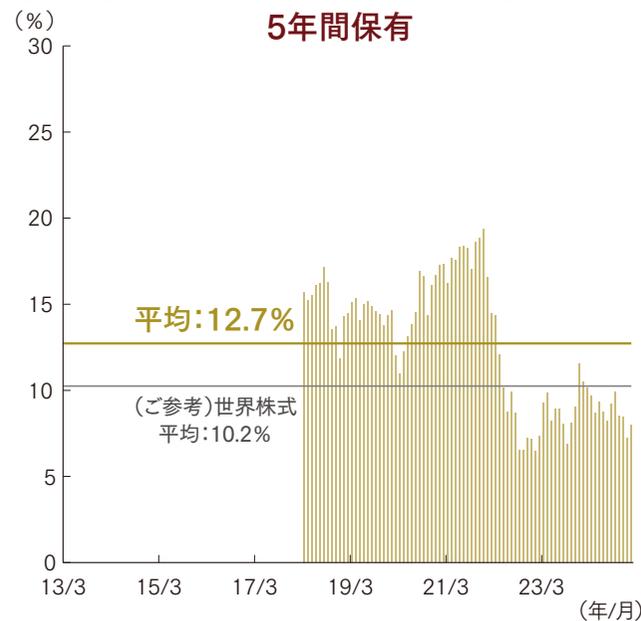
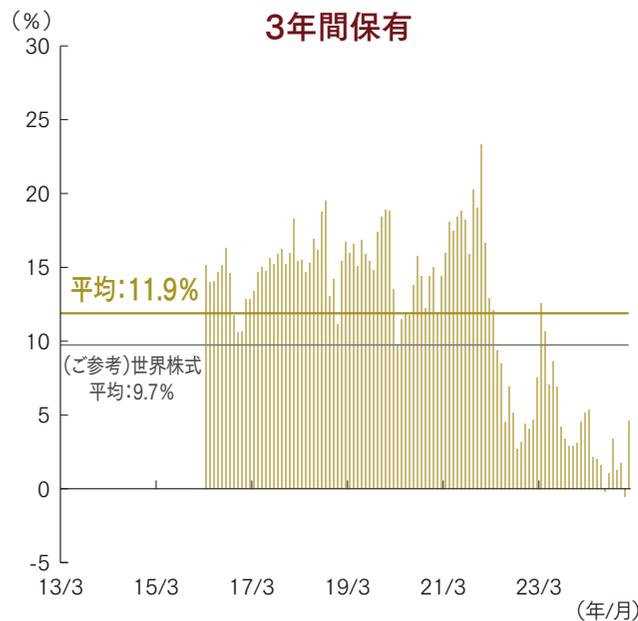
主要投資対象ファンド	
市場上昇時追従率	92.5%
市場下落時追従率	81.2%

※上記は過去の情報であり、将来の運用成果等を示唆・保証するものではありません。

主要投資対象ファンドのパフォーマンスデータ②

下記は、当ファンドの主要投資対象である、ルクセンブルク籍外国投資法人「ファンドスミスSICAV－ファンドスミス・エクイティ・ファンド Iクラス」米ドル建投資証券のパフォーマンスを表しています。当ファンドの運用実績ではありません。また、将来の運用成果を示唆・保証するものではありません。

保有期間別リターンの推移(年率、米ドルベース)



リターンがプラスになった回数	リターンがマイナスになった回数
主要投資対象ファンド 105回/107回	2回/107回

リターンがプラスになった回数	リターンがマイナスになった回数
主要投資対象ファンド 83回/83回	0回/83回

リターンがプラスになった回数	リターンがマイナスになった回数
主要投資対象ファンド 59回/59回	0回/59回

※期間:2013年3月末(主要投資対象ファンド設定月末)~2025年1月末(月次)

※上記は主要投資対象ファンドをそれぞれ各月末まで3年間、5年間、7年間保有した場合のリターン(年率)を表します。

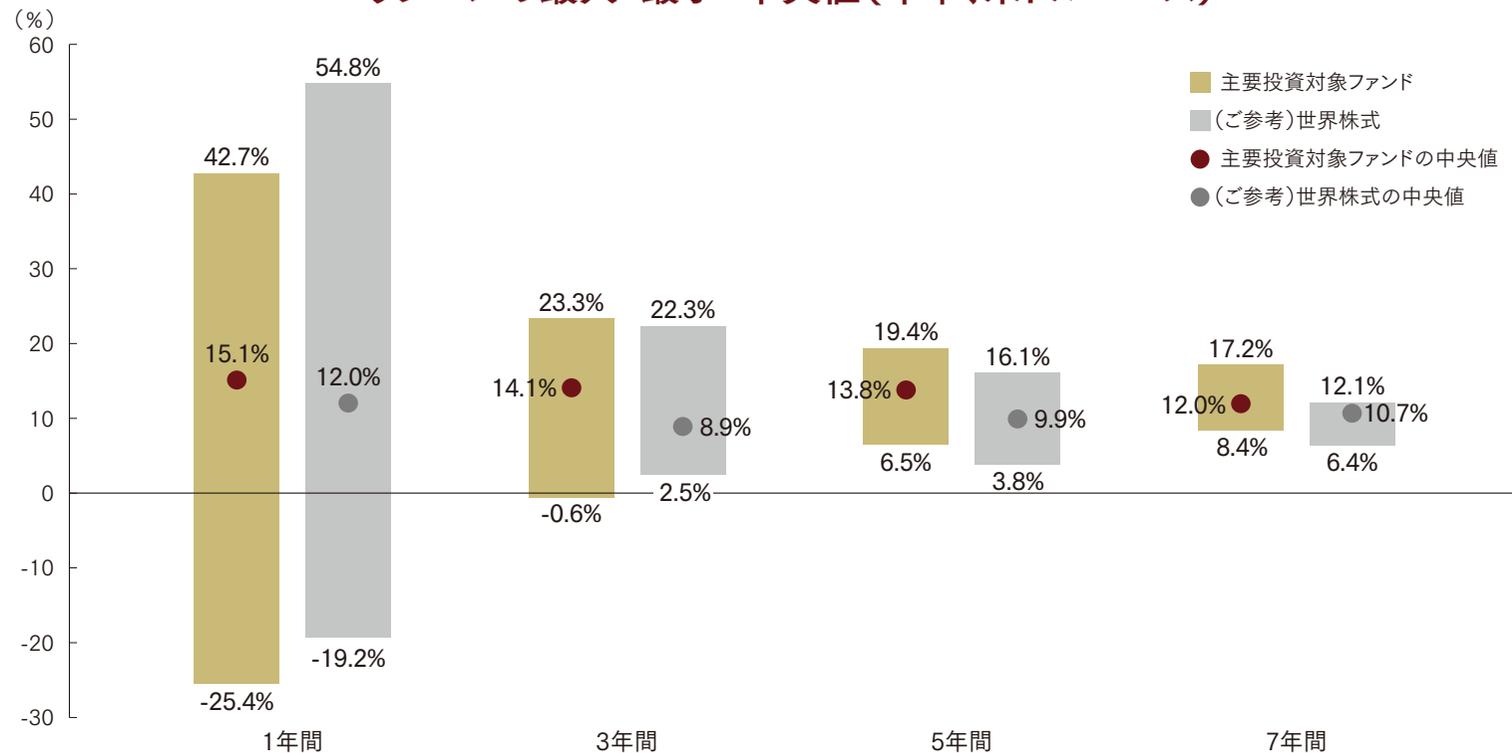
出所:ブルームバーグのデータをもとにアセットマネジメントOne作成

※上記は過去の情報であり、将来の運用成果等を示唆・保証するものではありません。

主要投資対象ファンドのパフォーマンスデータ③

下記は、当ファンドの主要投資対象である、ルクセンブルク籍外国投資法人「ファンドスミスSICAV－ファンドスミス・エクイティ・ファンド Iクラス」米ドル建投資証券のパフォーマンスを表しています。当ファンドの運用実績ではありません。また、将来の運用成果を示唆・保証するものではありません。

リターンの最大・最小・中央値(年率、米ドルベース)



※期間:2013年3月末(主要投資対象ファンド設定月末)~2025年1月末(月次)
 ※上記は主要投資対象ファンドをそれぞれ各月末まで1年間、3年間、5年間、7年間保有した場合のリターン(年率)を表します。
 ※中央値とは、データを大きさ順に並べたとき中央に位置する値を指します。
 出所:ブルームバーグのデータをもとにアセットマネジメントOne作成

※上記は過去の情報であり、将来の運用成果等を示唆・保証するものではありません。

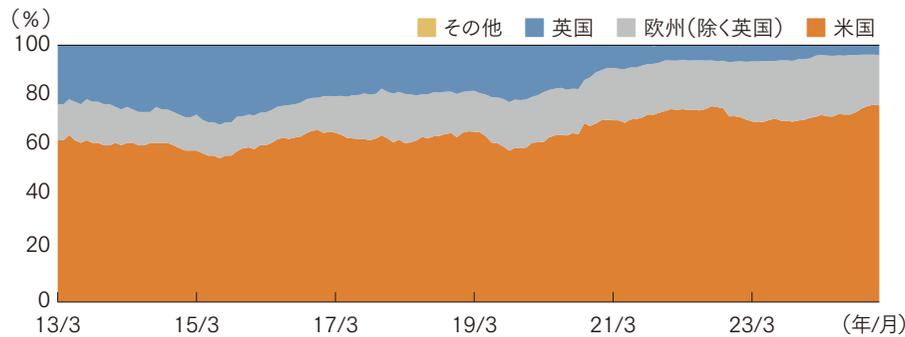
主要投資対象ファンドのポートフォリオ①

下記は、当ファンドの主要投資対象である、ルクセンブルク籍外国投資法人「ファンドスミスSICAVーファンドスミス・エクイティ・ファンド Iクラス」米ドル建投資証券の組入比率を表しています。当ファンドの運用実績ではありません。また、将来の運用成果を示唆・保証するものではありません。

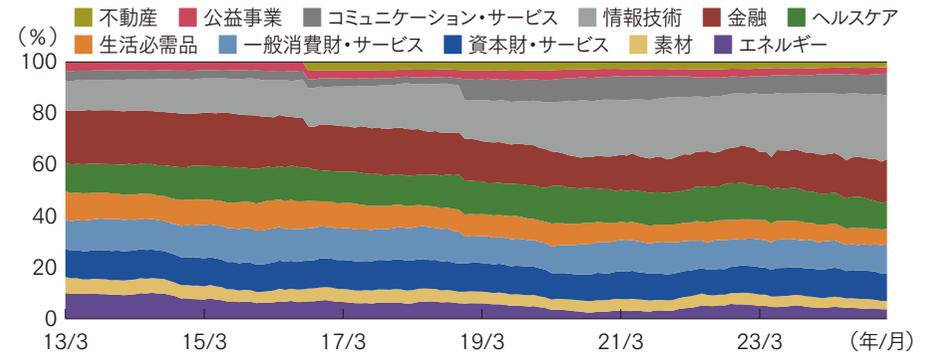
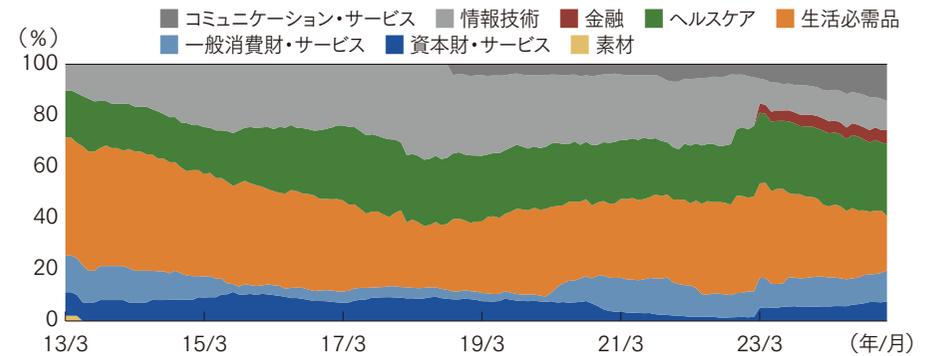
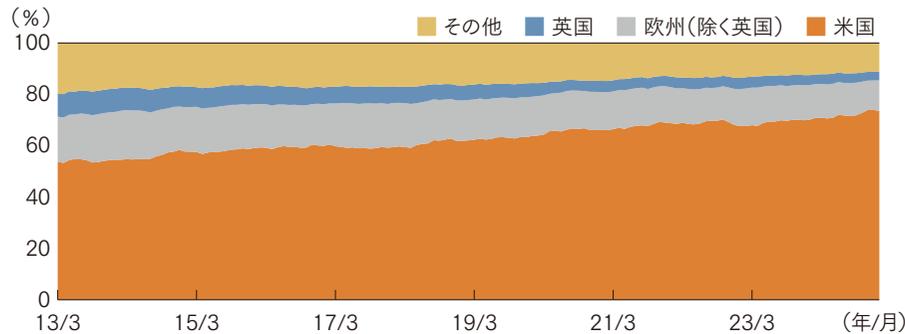
国・地域別組入比率の推移

業種別組入比率の推移

主要投資対象ファンド



(参考)世界株式



※期間:2013年3月末(主要投資対象ファンド設定月末)~2025年1月末(月次)

※主要投資対象ファンドの組入比率は、組入株式評価額に対する割合です。

※国・地域はファンドスミス社の分類によるものです。

※業種はGICS(世界産業分類基準)によるものです。

出所:ファクトセット、ファンドスミス社のデータをもとにアセットマネジメントOne作成

※上記は過去の情報であり、将来の運用成果等を示唆・保証するものではありません。

主要投資対象ファンドのポートフォリオ②

下記は、当ファンドの主要投資対象である、ルクセンブルク籍外国投資法人「ファンドスミスSICAV－ファンドスミス・エクイティ・ファンド Iクラス」米ドル建投資証券の組入上位銘柄を表しています。当ファンドの運用実績ではありません。また、将来の運用成果を示唆・保証するものではありません。

組入上位10銘柄

銘柄名	国・地域	業種
メタ・プラットフォームズ	米国	コミュニケーション・サービス
マイクロソフト	米国	情報技術
ストライカー	米国	ヘルスケア
ノボ・ノルディスク	デンマーク	ヘルスケア
ビザ	米国	金融
オートマチック・データ・プロセッシング	米国	資本財・サービス
ウォーターズ	米国	ヘルスケア
フィリップ・モリス・インターナショナル	米国	生活必需品
ロレアル	フランス	生活必需品
マリオット・インターナショナル	米国	一般消費財サービス

※2025年1月末時点
 ※国・地域はファンドスミス社の分類によるものです。
 ※業種はGICS(世界産業分類基準)によるものです。
 出所:ファンドスミス社のデータをもとにアセットマネジメントOne作成

組入銘柄数:26銘柄

※当該個別銘柄の提示は、売買の推奨を目的としたものではありません。また、当ファンドへの実質的な組入れまたは保有の継続を示唆・保証するものではありません。
 ※上記は過去の情報であり、将来の運用成果等を示唆・保証するものではありません。

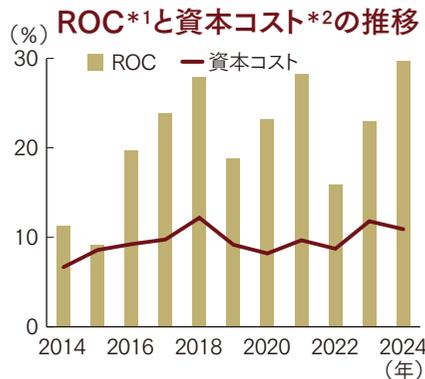
銘柄紹介①

メタ・プラットフォームズ (国・地域:米国 業種:コミュニケーション・サービス)

世界的なソーシャル・ネットワーキング・サービス(SNS)を提供するIT企業

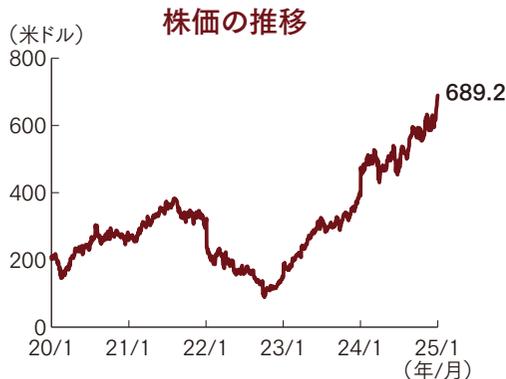
ファンドスミス社の評価ポイント

- **ネットワーク効果の働くSNSにおいて世界的地位を確立**
フェイスブック、インスタグラムなど、同社の提供するSNSは世界中で多く利用されています。膨大な利用者数を背景としたネットワーク効果により、その地位は盤石で、利用者はお増加を続けています。
- **中小・零細事業者の広告収益が成長の下支え**
同社のSNS利用者の行動をもとに各ユーザーの趣味・嗜好にあった広告を表示しています。従来の媒体に比べて、より少額で効果的な広告が可能になり、これまで広告出稿が難しかった中小・零細事業者からの広告料が売上の多くを占めています。今後もこれらの広告収益が成長継続を下支えすると考えられます。



※期間:2014年～2024年(年次)

*1 Return On Capitalの略称で、資本利益率を指します。詳細はP.10を参照ください。 *2 企業が資金調達・維持するために必要な費用(コスト)を指します。



※期間:2020年1月31日～2025年1月31日(日次)

※国・地域はファンドスミス社の分類によるものです。 ※業種はGICS(世界産業分類基準)によるものです。

出所:ブルームバーグのデータをもとにアセットマネジメントOne作成

※当該個別銘柄の提示は、売買の推奨を目的としたものではありません。また、当ファンドへの組入れまたは保有の継続を示唆・保証するものではありません。

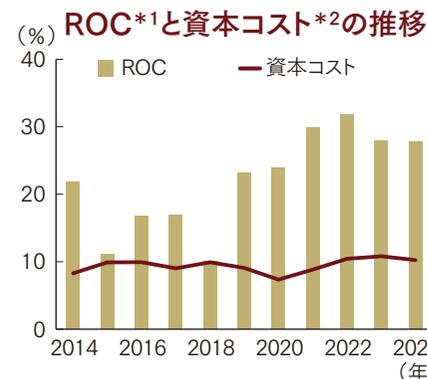
※上記は過去の情報または作成時点の見解であり、今後変更される場合があるほか、将来の運用成果等を示唆・保証するものではありません。

マイクロソフト (国・地域:米国 業種:情報技術)

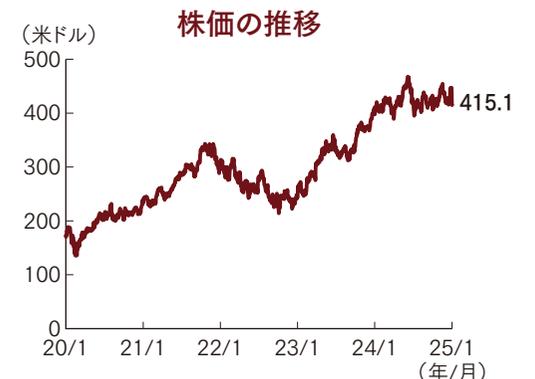
Windows、Office等で知られる米国のソフトウェア企業

ファンドスミス社の評価ポイント

- **業界標準となったソフトウェアの盤石な地位**
世界的なソフトウェア企業で、オペレーティングシステムのWindows、ビジネス用アプリケーションのOffice等が代表的な製品としてあげられます。それぞれが業界標準となっており、高い市場シェアを誇っています。
- **製品のクラウド移行による業績の安定性**
ソフトウェアのクラウド化が進むなか、パブリッククラウド分野で後れを取っていましたが、同社はWindowsやOffice等、ソフトウェアでの圧倒的な基盤を活かし、その差を縮めています。主力製品のクラウド移行が進み、定期・定額課金型のビジネスモデルの定着により、業績は過去に比べ、パソコン需給に左右されにくく、安定感が高まっていると考えられます。



※期間:2014年～2024年(年次)



※期間:2020年1月31日～2025年1月31日(日次)

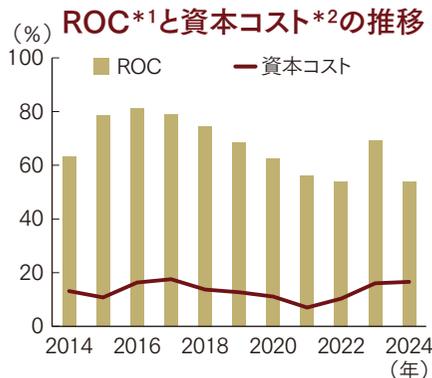
銘柄紹介②

ノボ・ノルディスク (国・地域:デンマーク 業種:ヘルスケア)

世界的な糖尿病治療薬の製薬会社

ファンドスミス社の評価ポイント

- **糖尿病患者の世界的な増加**
糖尿病に関連する世界的な医薬品支出は、疾病分野別ではがん等と並ぶ大きな分野です。新興国の生活が豊かになることで、代表的な生活習慣病である糖尿病の患者数の増加が予想され、また、先進国の高齢化もふまえると、これからも糖尿病治療薬の需要は拡大することが見込まれます。
- **寡占化された市場での安定した収益**
慢性疾患の一つである糖尿病の患者は、インスリン製剤を継続的に投与する必要があり、インスリン製剤の製造企業にとって継続的な収益源となっています。同分野は、同社、米イーライリリー、仏サノフィにより市場が寡占化されており、また、特許切れ後も、医師は信頼性の高い、大手3社の製品を使い続ける傾向があることから、参入障壁は高いと考えられます。



※期間:2014年~2024年(年次)

*1 Return On Capitalの略称で、資本利益率を指します。詳細はP.10を参照ください。 *2 企業が資金を調達・維持するために必要な費用(コスト)を指します。



※期間:2020年1月31日~2025年1月31日(日次)

※国・地域はファンドスミス社の分類によるものです。 ※業種はGICS(世界産業分類基準)によるものです。

出所:ブルームバーグのデータをもとにアセットマネジメントOne作成

※当該個別銘柄の提示は、売買の推奨を目的としたものではありません。また、当ファンドへの組入れまたは保有の継続を示唆・保証するものではありません。

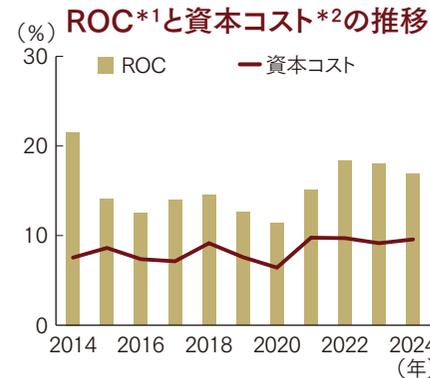
※上記は過去の情報または作成時点の見解であり、今後変更される場合があるほか、将来の運用成果等を示唆・保証するものではありません。

ロレアル (国・地域:フランス 業種:生活必需品)

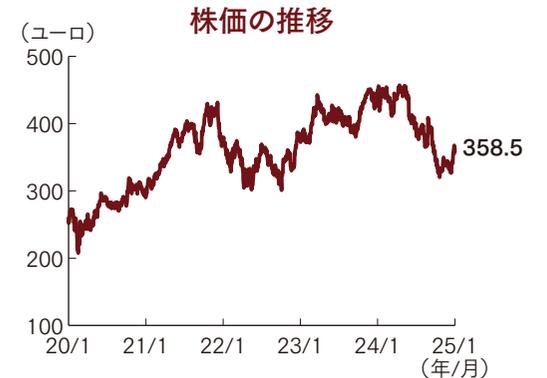
フランスの世界的な化粧品メーカー

ファンドスミス社の評価ポイント

- **トップブランドとして、毎日使う化粧品への安心感**
化粧品は毎日肌につけるため、消費者からみて安心感のあるブランドへの支持が高い傾向にあります。同社は欧州のトップブランドとしてのブランド価値から、高い利益率と安定した収益が見込まれます。
- **多様な製品ラインアップにより成長市場のニーズを広く捕捉**
日用品から高級品まで多様な製品を備え、スキンケア、ヘアケア、香水等、さまざまな分野のラインアップを持つことも同社の強みです。特に、経済成長により中間所得層が拡大するアジアにおいて、日用品から高級品まで、幅広いニーズをとらえ成長を続けています。



※期間:2014年~2024年(年次)



※期間:2020年1月31日~2025年1月31日(日次)

ファンドの投資リスク

当ファンドは、投資信託証券への投資を通じて値動きのある有価証券等(外貨建資産には為替変動リスクもあります。)に投資しますので、ファンドの基準価額は変動します。これらの運用による損益はすべて投資者のみなさまに帰属します。したがって、投資者のみなさまの投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。

また、投資信託は預貯金と異なります。

基準価額の変動要因

株価変動リスク	株式の価格は、国内外の政治・経済・社会情勢の変化、発行企業の業績・経営状況の変化、市場の需給関係等の影響を受け変動します。株式市場や当ファンドが実質的に投資する企業の株価が下落した場合には、その影響を受け、基準価額が下落する要因となります。また、当ファンドは、実質的に個別銘柄の選択による投資を行うため、株式市場全体の動向から乖離することがあり、株式市場が上昇する場合でも基準価額は下落する場合があります。
為替変動リスク	為替相場は、各国の政治情勢、経済状況等の様々な要因により変動し、外貨建資産の円換算価格に影響をおよぼします。当ファンドは、実質組入外貨建資産について原則として為替ヘッジを行わないため為替変動の影響を受けます。このため為替相場が当該実質組入資産の通貨に対して円高になった場合には、実質保有外貨建資産が現地通貨ベースで値上がりした場合でも基準価額が下落する可能性があります。
信用リスク	有価証券等の価格は、その発行体に債務不履行等が発生または予想される場合には、その影響を受け変動します。当ファンドが実質的に投資する株式の発行者が経営不安・倒産に陥った場合、また、こうした状況に陥ると予想される場合、信用格付けが格下げされた場合等には、株式の価格が下落したり、その価値がなくなることがあり、基準価額が下落する要因となります。
流動性リスク	有価証券等を売却または取得する際に市場規模や取引量、取引規制等により、その取引価格に影響を受ける場合があります。一般に市場規模が小さい場合や取引量が少ない場合には、市場実勢から期待できる価格どおりに取引できないことや、値動きが大きくなることもあり、基準価額に影響をおよぼす要因となります。
カントリーリスク	投資対象国・地域の政治経済情勢、通貨規制、資本規制、税制、また取引規制等の要因によって資産価格や通貨価値が大きく変動する場合があります。海外に投資する場合には、これらの影響を受け、基準価額が下落する要因となります。
特定の投資信託証券に投資するリスク	当ファンドが組入れる投資信託証券における運用会社の運用の巧拙が、当ファンドの運用成果に大きな影響をおよぼします。また、外国投資法人を通じて各国の有価証券に投資する場合、国内籍の投資信託から直接投資を行う場合に比べて、税制が相対的に不利となる可能性があります。

※基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

《分配金に関する留意事項》

- 収益分配は、計算期間中に発生した運用収益(経費控除後の配当等収益および売買益(評価益を含みます。))を超えて行われる場合があります。したがって、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。
- 受益者の個別元本の状況によっては、分配金の全額または一部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。個別元本とは、追加型投資信託を保有する受益者毎の取得元本のことで、受益者毎に異なります。
- 分配金は純資産総額から支払われます。このため、分配金支払い後の純資産総額は減少することとなり、基準価額が下落する要因となります。計算期間中の運用収益以上に分配金の支払いを行う場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。

お申込みメモ(みずほ信託銀行でお申込みの場合)

購入単位	販売会社が定める単位(当初元本1口=1円)
購入価額	購入申込受付日の翌営業日の基準価額(基準価額は1万口当たりで表示しています。)
換金単位	販売会社が定める単位
換金価額	換金申込受付日の翌営業日の基準価額
換金代金	原則として換金申込受付日から起算して8営業日目からお支払いします。
購入・換金申込不可日	ニューヨーク証券取引所、ニューヨークの銀行、ルクセンブルクの銀行のいずれかの休業日に該当する日、または12月24日には、購入・換金のお申込みの受付を行いません。
換金制限	信託財産の資金管理を円滑に行うため、大口の換金請求に制限を設ける場合があります。
購入・換金申込受付の中止および取消し	投資を行う投資信託証券の取得申込みの停止、投資を行った投資信託証券の換金停止、金融商品取引所等における取引の停止、外国為替取引の停止、決済機能の停止、その他やむを得ない事情があるときは、購入・換金のお申込みの受付を中止することおよびすでに受付けた購入・換金のお申込みの受付を取り消す場合があります。
信託期間	2052年1月15日まで(2021年12月22日設定)
繰上償還	当ファンドが主要投資対象とするファンドスミス・エクイティ・ファンドが存続しないこととなる場合には、受託会社と合意の上、信託契約を解約し、当該信託を終了(繰上償還)させます。純資産総額が30億円を下回ることとなった場合等には、償還することがあります。
決算日	毎年1月15日(休業日の場合は翌営業日)
収益分配	年1回の毎決算日に、収益分配方針に基づいて収益分配を行います。 ※お申込コースには、「分配金受取コース」と「分配金再投資コース」があります。ただし、販売会社によっては、どちらか一方のみの取扱いとなる場合があります。詳細は販売会社までお問い合わせください。
課税関係	当ファンドは課税上は株式投資信託として取り扱われます。 原則として、分配時の普通分配金ならびに換金時の値上がり益および償還時の償還差益に対して課税されます。 ※公募株式投資信託は税法上、一定の要件を満たした場合に少額投資非課税制度(NISA)の適用対象となります。 当ファンドは、NISAの「成長投資枠(特定非課税管理勘定)」の対象ですが、販売会社により取扱いが異なる場合があります。くわしくは、販売会社にお問い合わせください。 ※税法が改正された場合等には、上記内容が変更となる場合があります。

※ご購入の際は、投資信託説明書(交付目論見書)をご確認ください。

お客さまにご負担いただく手数料等について(みずほ信託銀行でお申込みの場合)

詳細については、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

ご購入時	ご購入時手数料	購入価額に対して、販売会社が別に定める以下の手数料率を乗じて得た額とします。 購入時手数料は、商品や投資環境の説明および情報提供等、ならびに購入に関する事務手続き等にかかる費用の対価として、販売会社に支払われます。			
		購入申込代金	手数料率		
		1億円未満	3.30%(税抜3.0%)		
		1億円以上3億円未満	1.65%(税抜1.5%)		
		3億円以上	0.55%(税抜0.5%)		
※購入申込代金とは、購入申込時の支払総額をいい、購入申込金額に購入時手数料および当該購入時手数料に対する消費税等相当額を加算した金額です。					
ご換金時	換金時手数料	ありません。			
	信託財産留保額	ありません。			
保有期間中 (信託財産から間接的にご負担いただきます。)	運用管理費用 (信託報酬)	ファンド	ファンドの日々の純資産総額に対して年率0.9075%(税抜0.825%)		
			支払先	内訳(税抜)	主な役務
			委託会社	年率0.20%	信託財産の運用、目論見書等各種書類の作成、基準価額の算出等の対価
			販売会社	年率0.60%	購入後の情報提供、交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
		受託会社	年率0.025%	運用財産の保管・管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価	
		投資対象とする 外国投資法人	ファンドスミス・エクイティ・ファンドの純資産総額に対して年率0.91%程度 ^(注) (注)ただし、上記料率は変更される場合があります。		
		実質的な負担	ファンドの日々の純資産総額に対して年率1.8175%(税抜1.735%)概算 ※上記はファンドが投資対象とするファンドスミス・エクイティ・ファンドを高位に組入れた状態を想定しています。		
	その他の費用・ 手数料	組入る有価証券等の売買の際に発生する売買委託手数料、信託事務の諸費用、外国での資産の保管等に要する費用、監査費用等が信託財産から支払われます。 ※投資対象とするファンドスミス・エクイティ・ファンドにおいては、信託事務の処理に要する費用には管理事務代行会社に支払う純資産総額に対して年率0.03%以内の費用等、資産の保管等に要する費用には保管銀行に支払う純資産総額に対して年率0.01%以内の費用等が含まれます。なお、当該料率は変動することがあります。また、上記以外にもその他の費用・手数料等が別途かかる場合があります。 ※その他の費用・手数料については、定期的に見直されるものや売買条件等により異なるものがあるため、事前に料率、上限額等を表示することができません。			

※上記手数料等の合計額等については、購入金額や保有期間等に応じて異なりますので、あらかじめ表示することができません。

※税法が改正された場合等には、税込手数料等が変更となる場合があります。

委託会社その他関係法人の概要

委託会社	アセットマネジメントOne株式会社	信託財産の運用指図等を行います。
受託会社	みずほ信託銀行株式会社	信託財産の保管・管理業務等を行います。
販売会社	みずほ信託銀行株式会社 他	募集の取扱いおよび販売、投資信託説明書(目論見書)・運用報告書の交付、収益分配金の再投資、収益分配金、一部解約金および償還金の支払いに関する事務等を行います。

照会先

アセットマネジメントOne株式会社

コール
センター **0120-104-694**
受付時間：営業日の午前9時～午後5時



ホームページアドレス
<https://www.am-one.co.jp/>

ご注意事項等

投資信託ご購入の注意

- 当資料は、アセットマネジメントOne株式会社が作成した販売用資料であり、金融商品取引法により義務づけられた資料ではありません。当ファンドのお申込みに際しては、販売会社から投資信託説明書（交付目論見書）および目論見書補完書面等をあらかじめお渡しいたしますので、内容を必ずご確認ください。
- 当ファンドは、投資信託証券への投資を通じて値動きのある有価証券等（外貨建資産には為替変動リスクもあります。）に投資しますので、市場環境、組入有価証券の発行者に係る信用状況等の変化により基準価額は変動します。このため、投資者のみなさまの投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。ファンドの運用による損益はすべて投資者のみなさまに帰属します。また、投資信託は預貯金とは異なります。
- 当資料は、アセットマネジメントOne株式会社が信頼できると判断したデータにより作成しておりますが、その内容の完全性、正確性について、同社が保証するものではありません。また掲載データは過去の実績であり、将来の運用成果を保証するものではありません。
- 当資料における内容は作成時点のものであり、今後予告なく変更される場合があります。
- 投資信託は
 1. 預金・保険契約ではありません。また、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。加えて、登録金融機関を通して購入した場合には投資者保護基金の対象にもなりません。
 2. 購入金額については元本保証および利回り保証のいずれもありません。
 3. 投資した資産の価値が減少して購入金額を下回る場合がありますが、これによる損失は投資者のみなさまが負担することとなります。

指数の著作権等

- MSCIワールド・インデックスに関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc.に帰属します。また、MSCI Inc.は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
- 世界産業分類基準(GICS)は、MSCI Inc.(MSCI)およびStandard & Poor's Financial Services LLC(S&P)により開発された、MSCIおよびS&Pの独占的権利およびサービスマークであり、アセットマネジメントOne株式会社に対し、その使用が許諾されたものです。MSCI、S&P、およびGICSまたはGICSによる分類の作成または編纂に関与した第三者のいずれも、かかる基準および分類(並びにこれらの使用から得られる結果)に関し、明示黙示を問わず、一切の表明保証をなさず、これらの当事者は、かかる基準および分類に関し、その新規性、正確性、完全性、商品性および特定目的への適合性についての一切の保証を、ここに明示的に排除します。上記のいずれをも制限することなく、MSCI、S&P、それらの関係会社、およびGICSまたはGICSによる分類の作成または編纂に関与した第三者は、いかなる場合においても、直接、間接、特別、懲罰的、派生的損害その他一切の損害(逸失利益を含みます。)につき、かかる損害の可能性を通知されていた場合であっても、一切の責任を負うものではありません。

Fundsmith

■投資信託説明書(交付目論見書)のご請求・お申込みは

MIZUHO みずほ信託銀行

商号等：みずほ信託銀行株式会社
登録金融機関 関東財務局長(登金)第34号
加入協会：日本証券業協会
一般社団法人日本投資顧問業協会
一般社団法人金融先物取引業協会

■設定・運用は



アセットマネジメントOne

商号等：アセットマネジメントOne株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第324号
加入協会：一般社団法人投資信託協会
一般社団法人日本投資顧問業協会